

# 本日のテーマ「昨年読んで面白かった本」

実施日：2019年1月27日

## 1 「短歌と俳句の五十番勝負」

→ 穂村弘、堀本裕樹／著 2018年 新潮社 【911.1 木】  
 “自称”天才歌人。→ 芥川賞受賞前の又吉真樹に俳句を考案してきた「見目かおる」俳人。この2人の自由な発想が楽しい本。



## 2 「蜜蜂と遠雷」 恩田陸／著 2016年 幻冬舎 【Nオ】 「蜜蜂と遠雷音楽集」 2017年 ナクソス・ジャパン 【OR10/ミツ】

国際ピアノコンクールを舞台に4人のピアニストたちが優勝を目指してぶつかりあうストーリー。ピアノの音が本からこぼれてくるように表現力に圧倒される。CDと一緒に聞いてみて下さい。



## 3 「さよなら、田中さん」 鈴木るりか／著 2017年 小学館 【YNス】

“メスのカバが1日だけ人間にしまったような～”などの表現が面白い。

## 4 「架空論文投稿計画 あらゆる意味ででっぴあげられた教章」 松崎有理／著 2017年 光文社 【Nマ】

“架空”の論文のテーマがとてつもない。専門用語が多く出てきまわが、欄外の注釈も面白く読めます。

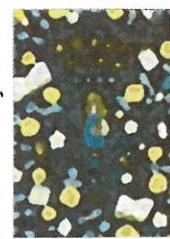


## 5 「本屋さんのダイアナ」 柚木麻子／著 2014年 新潮社 【Nゴ】

小生格が正反対の二人の共通点は“物語が大好き”なこと。目まぐるしいストーリー展開に最後まで目が離せませんでした。

## 6 「八朔の雪」 高田郁／著 2009年 角川春樹事務所 【SN夕】

時代感があるが、若い人にはとっつきにくいかもしれませんが、読みやすく、とてもいい作品なのでぜひ読んでほしいな。



## 7 「アムリタ 上・下」 吉本ばなな／著 1997年 角川書店 【SNヨ】

下巻にでてる、サハペンに住む、霊に強い女性「さそ子」がすごく良い味を出していた。

## 8 「昔話法廷 1～3※」 ※1は未所蔵 【YNムカ】 HNK Eテレ「昔話法廷」制作版／編 2016～2018年 金の星社 昔話の登場人物たちを現代の法律で裁く！ 裁くのは、読んであなた自身!!

読書会では「金の空想科学読本」「銀の空想科学読本」×ディアマントリーを紹介したい。  
 2011年 2012年

## 9 「空想科学読本 3分間で地球を守れ!」※ 柳田理科雄／著 2017年 KADOKAWA (角川文庫)

※未所蔵。ただし、単行本で18冊所蔵。  
 マンガやアニメ、特撮などのエピソードや設定を科学的検証しているところがよかった。

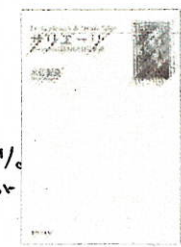


## 10 「キリンの運びかた、教えます 電車と病院も!」 岩貞るみこ／文 たら子／絵 2018年 講談社 【680】

首の長いキリンを運ぶのはとっても大変。運ぶプロの仕事はさすがです!!

## 11 「サリエリ モーツァルトに消された宮廷楽長」 水谷彰良／著 2004年 音楽之友社 【762.3】

モーツァルトの毒殺容疑によって歴史の舞台に追いやられたサリエリ。作曲家であり教育者であった彼の世評や功績や生涯を知ることができてとてもよかった。



## 12 「ベルリオーズ回想録 1、2」 ベルリオーズ／著 丹治恒次郎／訳 1981年 白水社 【762.3】

華々しい経歴はないけれど、よくわからない前向きさと情熱的な批評、語りは読んでいて元気と鳥気もくわります。

## 13 「花より男子 1～37」 神尾葉子／著 1992～2008年 集英社 【マ/加】

ドラマの“花のら晴天”を見て、ドラマ×前の話が知りたくなって読んでみると、本のペースがわかる手かとまらなくなりました。

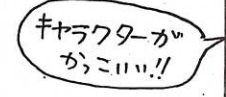


## 14 「応天の門 1～10※」 ※続巻中。1/27 現在4巻まで所蔵 灰原薬／著 2014～2018年 新潮社 【マ/川】

硬い、苦しい言葉もなくて読みやすい。平安時代の生活習慣や文化、政治について解説がのっている。平安時代が好きな

## 15 「極主夫道 1」 ※未所蔵 王んがでず なるかも? おおのこうすけ／著 2018年 新潮社

ひたすらシュルレ、非日常の世界が面白い面白さ!



## 16 「恋する世界文学」 ※未所蔵 佐藤真由美／著 2011年 集英社

男女の恋愛差をリアルに描いていて勉強になりました!♡

